

電 源 事 典

4 章

UPS(無停電電源装置)

4-2 UPS の必要性

Nipron Co., Ltd.

4 2 UPS の必要性

日本の電源事情は、おおむね安定しており、送電のトラブルに伴う停電の発生率は低くなっています。しかし、電力会社の送電線切替えによる瞬停は比較的多く発生しており、数 msec 程度の瞬停は、年間約 4 回は発生するといわれています。また、大規模な停電は少ないとしても、ブレーカーが落ちる、コンセントを誤って抜いてしまった、などによる停電の可能性があります。また、大型モータ回転時の瞬間的な電圧低下や、雷サージなどの電源障害が発生する場合があります。

以上の様な電源障害は、コンピュータの誤作動やデータの消滅といった重大な被害を招く恐れがあります。コンピュータシステムに障害が生じた場合は、その復旧に莫大な時間とお金が必要となります。近年では、LAN・インターネットなど情報通信の増加、実用化によりサーバデータの重要性がアップし、ネットワーク全体の無停止化が求められるようになってきています。UPS は、電源障害からコンピュータシステムを守り、信頼性が要求されるシステムへの需要が高くなってきています。

UPS が適用されるシステム

【高い信頼性が要求されるシステム】

- ・ 金融機関などのオンラインシステム
- ・ インターネットプロバイダー
- ・ 公共放送通信機器
- ・ 防災管理システム
- ・ 医療管理システム
- ・ 重要なサーバ、ワークステーション

【劣悪な電源環境で使用されるシステム】

- ・ 多雷地域、瞬時電圧上昇低下が多発する地域
- ・ 電源雑音の多い地域